２０２１年
２７６号
５月１９日（水）

ねんきん越谷

全日本年金者組合越谷支部
〒343-0845
埼玉県越谷市南越谷2-13-49
（越労連内）
TEL・FAX 048-989-2472
E-mail keyaki-n@biscuit.ocn.ne.jp

ラジオ体操で体を温め 春のレクリエーション大会 &誕生会

５月11日（火）越谷は「まん延防止重点措置」と被ってしまい、参加者がどのくらい集まるか懸念してましたが、会場の南越谷グラウンドには30人の参加で「春のレクリエーション大会&誕生会」を行う事ができました。

前日の暑さとうってかわって、涼しい中まずラジオ体操第一と第二を全員で行い、体を温めました。

次に三つのレクリエーション。グラウンドゴルフは12名が参加。4人1組で3グループに分かれ4ホールを4ラウンド行いました。第4ホールは最も長い50ｍあり、力一杯のスイングでも距離感が合わず悪戦苦闘。

そんな中、遊間さんがホールインワンを達成、今回唯一のホールインワンでした。

ウォーキングには13人が参加。谷古田河畔緑道は夏場の用水時期を迎え水を満々とたたえ、新緑がきれいでウォーキングには最適でした。

約３kmでした。

「お茶べり会」はウォーキングに参加を申し込んでいたけど足が痛くて歩けなかった方と、「お茶べり会」担当役員のふたりで開催。２人とも「越谷・酒を飲む会」の気心の知れた仲間ですので、足腰の痛みと通院した病院のこと、コロナワクチンの予約のこと、「酒を飲む会」の近況など、ゆったりと楽しく、少し肌寒い風を感じつつ、お茶を飲みながら語り合いました。

昼食はアルコールはなし。初めに「越谷音頭」を踊り、次に組合員でもあり踊りの会を主催されている小林洋子さんが「人生劇場」を披露してくれました。３・４・５月生まれの左記の方々に誕生花でお祝いし、最後に全員でじゃんけん大会をしました。全員が賞品をもらえました。

コロナの中、久しぶりに楽しいひと時を送りました。

高木　常雄さん
草薙　恵美子さん
吉田　正美さん
小林　智加子さん
長谷川　昌弘さん
吉田　和子さん
遊間　雅之さん

点晴

コロナ感染拡大のかげで進む「高齢者医療費２倍化計画」

◆現在、75歳以上で年収２００万円以上の人の医療費窓口負担は１割です◆政府が今の国会に提案している法案では、負担増の対象者は①単身で年収２００万円以上、②75歳以上の夫妻で年収３２０万円以上、合わせて３７０万人（75歳以上の高齢者の20％）を対象に、③窓口負担を２割（２倍）にし、22年度後半から導入する計画です◆75歳以上の高齢者は病気にかかりやすく治療に時間がかかります。そのため年収に対する負担割合も現在の１割負担でも、若い世代と比べて４倍から６倍もの医療費負担を強いられています。そこにコロナによる受診控えが加わっています。そんな時に受診控えをさらに酷くする負担増の追い打ちという「冷酷非情」な政治は許せません◆マスコミでは「しんぶん赤旗」など一部で報道される以外はほとんど報道されていません◆国会では法案に反対する保団連（全国保険医団体連合会）、中央社保協、年金者組合などの共催による集会や署名の提出が行なわれてきましたが、コロナの影響で行動は残念ながら大きく広がっているとは言えません◆そんな中、「75歳になれば１割負担になると歯を食いしばって負担してきたのに２割になるなんてひどすぎる」「年金のみの収入で医療費負担が２倍になれば医者にかかるのを２分の１にしなければ・これでは生きていけません」などの切実な声があがっています◆越谷市議会では、「75歳以上の医療費窓口負担２割化に反対する意見書」が３月議会に提案されましたが、共産・立憲・市民ネットと無所属議員の賛成、自民・公明・刷新・維新などの反対で否決されました◆菅首相は「給付は高齢者中心、負担は現役世代中心という構造を見直す」と負担増を正当化しようとしています◆年金者組合は、医療費負担２倍化の撤回を求める署名を集めています。「負担増は絶対に許せない」の声を国に届けましょう。（山本英郎）

新型コロナウイルス
ワクチン接種予約の手続きで困っている人は、年金者組合の役員に相談下さい、サポートします